

【青森の夏】Vol.8

8月上旬の青森はお祭りの熱気と感動で包まれました。弘前ねぶたは武者絵が描かれた扇形の山車とともに「ヤーヤドー」の掛け声で練り歩く姿は出陣を思わせるような威風堂々とした雰囲気と子供達の手で揺れるかわいらしい金魚ねぶたの心温まる光景であり、また、青森ねぶたは迫り来る巨大な灯籠山車と勇壮な囃子、大勢の跳人が「ラッセーラ」の掛け声とともに練り歩く姿に圧倒され、跳梁躍動、まさに戦に勝利して凱旋する様子でした。そして、五所川原立佞武多は「ヤッテマレ」の掛け声とともに20mを超える高さで圧倒的な迫力の巨大山車が市中を通る姿はまさに勇壮壮大、圧巻でした。今年は見ることが叶わなかった八戸三社大祭や県内各地のねぶた（ねぶた）にもぜひいつの日か訪れ、普段の生活では感じる事が出来ない非日常の世界を楽しみたいと思っています。

さて、青森ねぶたには陸上自衛隊青森駐屯地のねぶたが毎年出陣しています。ねぶた師の方は自衛官、隊員も制作のサポートや跳人等として参加しており、囃子方の中には地本のリクルータとして活躍してくれた青森出身若手隊員の元気な姿もありました。また、弘前ねぶたでは錦絵に描かれる豪快な武者姿に華を添えるように陸上自衛隊弘前駐屯地の若手隊員による剣舞が披露され、その清廉潔白な雄姿に対して、観客からは惜しめない拍手が送られていました。隊員が一市民として祭りを盛り上げ、そして地域の方々との絆を深めながら、祭りの伝統と技術を未来に繋いでいくその姿に、自衛官としての誇りを感じた夏でした。